

委員会要旨

日 時	令和6年11月13日(水) 午後2時30分から午後4時15分まで
場 所	軽井沢町役場 第3・4会議室
件 名	第12回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者 委 員	委員：池田靖史委員、小林美智子委員、堀内勉委員、佐藤公貴委員、上田公三委員、船曳鴻紅委員、饗場晴雄委員、大工原亮子委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、小林里恵委員、小林久史委員、外川樹美代委員、大町哲也委員、小林広幸委員、福原未来委員、堀池玲子委員、田村恵美委員、佐藤絵理委員、篠原幸雄委員 設計者：山下・三浦JV 3名 町：小池副町長 事務局：新庁舎周辺整備課 土赤課長、篠澤室長、佐藤 ：生涯学習課 森補佐、新海館長 欠席：堀池玲子委員、島崎直也委員、本城慎之介委員
1. 開 会	
2. 議 題	
(1) 公民館機能拡充施設の規模・機能について	公民館の目的、現状、課題等について教育委員会事務局から説明後、今後教育委員や社会教育委員と協議を行っていく旨を説明。また、庁舎と公民館機能が一体型になることによる相乗効果について、設計者から説明 【主な議論】 ・区民会館や交流館など様々な名前の施設があるが、すべて公民館分館ということで良いか。 ⇒お見込みのとおり。様々な名称があるが、公民館分館ということになる。 ・分館の管理はどうしているのか。 ⇒職員を一人ひとり配置することは難しくため、各区に管理を委託している。そのうち、管理人が常駐しているのは旧軽井沢・新軽井沢・中軽井沢の3分館のみである。 ・公民館が交流センターになることについてはどう考えているのか。 ⇒基本的には公民館+αなので、公民館の活動は担保されるため、教育委員会事務局としてこれまでもおりと考えている。 ・相乗効果の事例が軽井沢の条件と合致していないと感じた。 ⇒JVの実績から選んだため、今後分かりやすい事例も紹介させていただく。
(2) 整備方法(ABC案)の検討について	整備方法の検討状況について、各意見聴取の結果を事務局からまとめて説明後、議論。委員からはどの案が良いと考えるかについて意見を求めた。 【主な意見】 ・スクラップ&ビルドではなく、環境面や将来のことを考えてC案(改修案)が良いと考える。 ・トータルコストが同程度であれば一般的に自由度が高いと言われるB案(一体化案)が良いと考える。 ⇒既に意見を提出していただいていた委員のうち7割程度がB案を支持しており、委員長としては事務局から町長に対し、「B案が多数意見であるけども、しかしながらC案を強く支持する意見が残っている」という報告をしてもらいたい。

(3) その他

- ・これまでの議論を踏まえて、近日中に町長が整備方法の最終判断を行う
- ・次回の委員会は12月16日（月）14時から「ZEB」を議題とする予定

3. 閉会

以上